

つれづれ

平成30年2月13日(火)

学びを深める



今朝の全校集会では、先日読んだ本について話をしました。その本には、^{きじこく}龜慈国（^{しんきょう}現新疆ウィグル自治区＜中国の西端＞）の鳩摩羅什（僧侶 344年～413年）が、サンスクリット語（インドの古い言語）で書かれた多くの経典を漢訳し、それがやがて日本に伝わってきたと書いてありました。その中に無量義經というお経があり、読んでいて心に残ったいくつかの言葉がありましたので皆さんにも伝えます。

「^{じにん}慈仁なき者には慈心を起こさしむ」

訳：情け深さのない人には、慈しみの心を起こさせる。

「嫉妬を生ずる者には^{ずいき}随喜の心を起こさしむ」

訳：嫉妬をする人には、人の善事を心から喜ぶ心を起こさせる。

「^{けたい}懈怠を生ずる者には精進の心を起こさしむ」

訳：怠ける人には、一生懸命努力する心を起こさせる。

「愚痴多き者には智慧の心を起こさしむ」

訳：愚痴の多い人には、物事の本質をとらえる心を起こさせる。

「…心を起させる」となっているのは、無量義經を読んだ人に上記のような心が起こるということです。もっと仏教的な教えを含んだ訳し方があるのかもしれないかもしれませんが、私なりの訳をつけておきました。

人を大切にする。共に喜ぶ。努力を怠らない。物事の本質をとらえ適切な対応をする。どの内容をとってみても、皆さんが日々の学校生活で学んでいることばかりです。これからも、これらの学びを深めてください。とりわけ3年生はあとわずかです。中学校卒業を迎えます。本校での学びをより確かなものにする締めくくりをしてください。

<保護者の皆様へ>

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【大阪市教育委員会 天下茶屋中学校】で検索



QR code

天下茶屋中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j762750>